

保護者の皆様へ

佼成育子園
園長 須田益朗

アタマジラミが発生しました！

育子園でもアタマジラミが発生しました。近年保育園や幼稚園、小学校でアタマジラミの発生が増加しています。アタマジラミは固有の病原体を媒介することはありませんが、ときに吸血に伴う痒みで皮膚炎など不快な症状を起こすことがありますので注意が必要です。もしも、発見された場合は早めに皮膚科医師にご相談ください。アタマジラミは学校伝染病ではありませんので休園しなくて結構ですが、集団発生を避けるため担任にお知らせください。

アタマジラミについては裏面に詳しく記載してありますが、まずアタマジラミ発生に対する冷静な対応をお願いいたします。

アタマジラミは主に集団生活で感染します！！

なぜ今になって、アタマジラミが流行するのでしょうか。それは DDT や BHC などの薬剤が禁止になったこと、海外旅行が年々盛んになり持ち帰られたことなどに原因があるようです。

戦後の混乱した時代のしらみは不潔の代名詞でした。しかし現在流行しているアタマジラミは違います。どこからか一度持ち込まれると家庭・保育園・幼稚園・小学校などで接触感染により流行します。

シラミを知っている世代が少なくなっている現在シラミを正しく認識し、駆除することが大切です。

子どもたちの心を傷つけないようにしましょう！！

もし、お子様にアタマジラミがいても、決してあわてる必要はありません。駆除の方法さえ間違えなければ 1～2 週間で確実に駆除できます。大切なことは「アタマジラミがいる子は不潔だ」「だらしがないからうつるのだ」といった考え方を捨ててお子様に接することです。

大人の何気ない一言で、子ども達は深刻に悩んだり神経質になったりするものです。アタマジラミの害より怖いのは、偏見や差別による子ども達の心の傷をつけることです。